

町制施行70周年記念 芝山夏祭り2025

7月19日、航空科学博物館にて「芝山夏祭り2025」が開催されました。子どもたちの無邪気な笑い声、響き渡る太鼓の音、そして飛行機の離陸音——それぞれが異なるリズムを刻みながら、ひとつの場所に重なり合い、芝山らしい夏の音風景をつくり出していました。ステージからはおなじみの「芝山音頭」が流れ出し、世代を問わず多くの人が輪になって踊る姿が印象的でした。



▲活気に満ちた夏祭り

はぐ〜んの夏祭り

7月29日、子育て支援センターはぐ〜んにて夏祭りが開催されました。妖怪をテーマにした新聞紙巻きとり競争や絵本「きんぎょがにげた」をモチーフにしたきんぎょ探しなど、プログラムのひとつひとつに工夫が凝らされており、小さなお子さんから保護者まで盛り上がる内容となっていました。終了後には、NPO法人リンクからかき氷が振る舞われ、親子で仲良く味わう姿が見られました。



▲かき氷シロップでベロがカラフルでした

生き甲斐学級

7月29日、福祉センターやすらぎの里で生き甲斐学級「お楽しみ会」が開催されました。

お楽しみ会では講師や公民館職員のピアノやギター演奏に合わせて、学級生が歌ったり、踊ったりしていました。

午後には学級生による出し物として川柳や作文の読み聞かせ、カラオケなどが披露されました。

ミニゲーム大会も実施され、大盛り上がりの中終了しました。



▲ノリノリの学級生たち

若竹塾

8月3日、第1回若竹塾「勾玉づくり」が芝山古墳・はにわ博物館にて開催されました。親子合わせて11名の方々が参加し、和やかでアットホームな雰囲気の中、参加者それぞれが真剣に勾玉の研磨作業に取り組みました。講師の指導のもと、石の形を丁寧に磨き上げる過程では、集中力を発揮しながらも楽しく作業が進められました。完成した作品はそれぞれ個性あふれるものとなり、参加者の皆さんは達成感を味わいつつ親子のきずなを深めていました。



▲勾玉はお守りや魔除けに使われていました

今年も芝山ビクトリーズ躍進中！ スプリングカップ2025 結果報告

今年度最初の大会「スプリングカップ」が6月7日より開催されました。芝山ビクトリーズは、キャプテン・井口理沙さん（6年生）を中心に、5年生8名と下級生が力を合わせ、予選リーグを2位で通過しました。

続く準決勝リーグでは、他ブロック1位の強豪・豊海を破り、6月22日の決勝トーナメント進出を決定。準決勝ではライバル・蓮沼と対戦し、惜しくも敗れましたが、最後まで粘り強く戦い抜きました。

3位決定戦の相手は、予選で大差をつけられた大網ビックネッツ。第3クォーター終了時点で40-36とリードし、最終クォーターでは、相手の反撃に粘り強く守っていましたが、同点で迎えた試合終了間際に、フリースローを2本決められてしまい敗れてしまいました。

芝山ビクトリーズは、今年も「限界突破」を合言葉に、練習を重ね、自分たちの力を信じて挑戦を続けています。



スポーツ推進委員 長年の功績を讃えられ表彰

6月27日、山梨県で開催された「令和7年度関東スポーツ推進委員研究大会」において、芝山町スポーツ推進委員の岩澤達弥さんが、長年にわたり地域スポーツ推進と発展に寄与した功績が認められ、関東スポーツ推進委員協議会表彰を受賞しました。



空手道 白真会 少年空手家大活躍

6月22日、埼玉県戸田市スポーツセンターにて行われた「第13回全関東空手道選手権大会」において、土屋諒真選手が小学1年初級の部で《準優勝》という輝かしい成果を挙げられました。続いて、6月29日、茨城県下総総合体育館で開催された「第5回茨城県空手道選手権大会」では、同じく小学1年初級の部において《優勝》の栄冠に輝きました。2大会連続での入賞は、日頃の厳しい稽古と真摯な姿勢の賜物であり、その努力と実力が高く評価された結果です。



CONTENTS

September.2025
9 No.613
長月

「広報しばやま」は、新聞折込みにて配布しています。

- ◎もくじ
- 2……しばやまスポーツニュース
 - 3……しばやまイベントレポート
 - 4……郡民大会・中学総体
 - 6……英会話教室
 - 7……町からのお知らせ
 - 18……くらしの広場
 - 22……巻末特集

24……地域おこし協力隊レポート

9月の納期 納付期限 9月30日(火)	
固定資産税	3期
国民健康保険税	3期
介護保険料	3期
後期高齢者医療保険料	3期
納税は便利な口座振替で！	